

## コラム ロシア連邦サハリン州ユジノサハリンスク・ウラジオストクで開催されたセミナーで、講師を務めました。

寒地土木研究所では、ロシア極東国立交通大学、ロシア極東連邦大学と連携協定等を締結するなど、ロシア極東地域の機関と土木技術に関する研究交流や技術普及を積極的に進めています。平成26年度には、当所の職員が下記に示しますセミナーの講師として招かれましたので紹介いたします。

### 1、「北海道寒冷地域建設技術セミナー」

ロシア連邦サハリン州政府と北海道大学工学研究院の共催による「北海道寒冷地域建設技術セミナー」が平成26年10月2日にユジノサハリンスク市で開催されました。日本側からは、北海道大学瀬戸口教授（都市地域デザイン学研究室）、菊地教授（建築構造計画学研究室）が参加したほか、当所防災地質チーム倉橋上席研究員、寒冷沿岸域チームの山本上席研究員が講師として招かれました。倉橋上席研究員（写真-1）と山本上席研究員（写真-2）は、それぞれ「北海道の国道における斜面災害とその対策」、「北海道における海岸被害と対策事例」と題して講演を行いました。セミナーには、土木技術に関わる民間企業の技術者約20名が参加し、講演後の意見交換では、サハリンにおける海岸保全対策、融雪期の斜面災害について熱心な議論が交わされました。



写真-1 倉橋上席研究員の講演



写真-2 山本上席研究員の講演

### 2、舗装技術者向けセミナー

独立非営利法人日本センター（サハリン/ウラジオストク）の主催による舗装技術者向けの「サハリン/ウラジオストクセミナー」が平成26年12月11～12日にユジノサハリンスク市、同15～16日にウラジオストク市でそれぞれ開催され、寒地道路保全チームの星主任研究員（写真-3）が講師として招かれました。

星主任研究員は、それぞれのセミナーで2日にわたり「積雪寒冷地における舗装の損傷と設計・補修等」について講義を行いました。それぞれのセミナーには、土木技術に関わる民間企業の技術者等が2日間で述べ約60名参加し、講義中の意見交換では、予防的修繕の考え方等について踏み込んだ意見交換を行いました。

本セミナーを通じて、今後一層、当所とロシア極東地域の機関で研究交流が促進されるとともに、積雪寒冷地の共通課題に取り組んでいくことが期待されます。



写真-3 講義の参加者（星主任研究員：中央）